

やがて独り立ちする子どもたちに
生き抜く力の育成



第6次福島県総合教育計画

基本理念 “ふくしまの和” で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり

基本目標

- 知・徳・体のバランスのとれた社会に貢献する自立した人間の育成
- 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 豊かな教育環境の形成

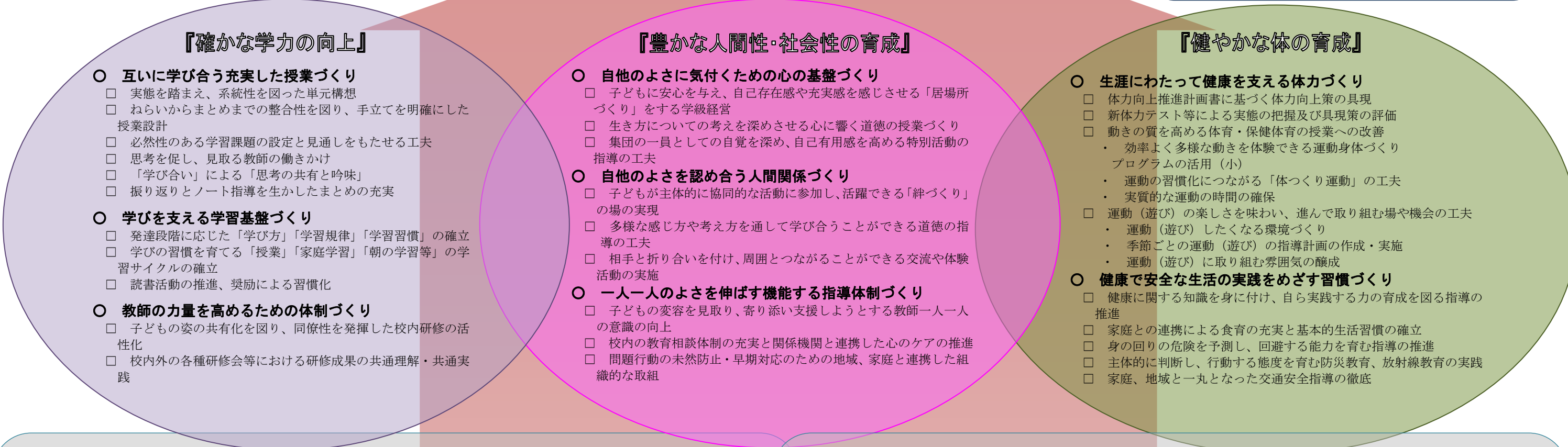
福島県総合計画「ふくしま新生プラン」(教育分野)

主要施策 「知・徳・体のバランスのよい育成と生き抜く力をはぐくむ教育を進めます」

主な取組

- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 確かな学力の育成
- キャリア教育
- 東日本大震災・原子力災害を踏まえた教育等

未来を拓く県北の教育



『確かな学力の向上』

- 互いに学び合う充実した授業づくり
 - 実態を踏まえ、系統性を図った単元構想
 - ねらいからまとめまでの整合性を図り、手立てを明確にした授業設計
 - 必然性のある学習課題の設定と見通しをもたせる工夫
 - 思考を促し、見取る教師の働きかけ
 - 「学び合い」による「思考の共有と吟味」
 - 振り返りとノート指導を生かしたまとめの充実
- 学びを支える学習基盤づくり
 - 発達段階に応じた「学び方」「学習規律」「学習習慣」の確立
 - 学びの習慣を育てる「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの確立
 - 読書活動の推進、奨励による習慣化
- 教師の力量を高めるための体制づくり
 - 子どもの姿の共有化を図り、同僚性を発揮した校内研修の活性化
 - 校内外の各種研修会等における研修成果の共通理解・共通実践

『豊かな人間性・社会性の育成』

- 自他のよさに気付くための心の基盤づくり
 - 子どもに安心を与え、自己存在感や充実感を感じさせる「居場所づくり」をする学級経営
 - 生き方についての考えを深めさせる心に響く道徳の授業づくり
 - 集団の一員としての自覚を深め、自己有用感を高める特別活動の指導の工夫
- 自他のよさを認め合う人間関係づくり
 - 子どもが主体的に協同的な活動に参加し、活躍できる「絆づくり」の場の実現
 - 多様な感じ方や考え方を通して学び合うことができる道徳の指導の工夫
 - 相手と折り合いを付け、周囲とつながることができる交流や体験活動の実施
- 一人一人のよさを伸ばす機能する指導体制づくり
 - 子どもの変容を見取り、寄り添い支援しようとする教師一人一人の意識の向上
 - 校内の教育相談体制の充実と関係機関と連携した心のケアの推進
 - 問題行動の未然防止・早期対応のための地域、家庭と連携した組織的な取組

『健やかな体の育成』

- 生涯にわたって健康を支える体力づくり
 - 体力向上推進計画書に基づく体力向上策の具現
 - 新体力テスト等による実態の把握及び具現策の評価
 - 動きの質を高める体育・保健体育の授業への改善
 - ・ 効率よく多様な動きを体験できる運動身体づくりプログラムの活用(小)
 - ・ 運動の習慣化につながる「体づくり運動」の工夫
 - ・ 実質的な運動の時間の確保
 - 運動(遊び)の楽しさを味わい、進んで取り組む場や機会の工夫
 - ・ 運動(遊び)したくなる環境づくり
 - ・ 季節ごとの運動(遊び)の指導計画の作成・実施
 - ・ 運動(遊び)に取り組む雰囲気醸成
- 健康で安全な生活の実践をめざす習慣づくり
 - 健康に関する知識を身に付け、自ら実践する力の育成を図る指導の推進
 - 家庭との連携による食育の充実と基本的生活習慣の確立
 - 身の回りの危険を予測し、回避する能力を育む指導の推進
 - 主体的に判断し、行動する態度を育む防災教育、放射線教育の実践
 - 家庭、地域と一丸となった交通安全指導の徹底

『特別支援教育の充実』

- 全教職員の連携協力による校(園)内支援体制づくり
 - 校(園)内委員会の充実と教職員間の具体的な支援策の共有化
 - 特別支援教育コーディネーターを中心とした研修会やケース会議の実施
- 集団の中のよりよい友達関係づくり
 - 教師が仲立ちとなり、友達とのよりよい関わりをつくるための支援の工夫
 - 計画的、継続的な交流及び共同学習の組織的な推進
- 一人一人のニーズに応じた指導体制づくり
 - 子どもの特性の把握に基づく指導のねらいや方針の明確化
 - 「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用
- 家庭、地域及び関係機関との連携づくり
 - 保健福祉等関係機関との連携や特別支援学校のセンター的機能の活用
 - 研修会等による家庭や地域への特別支援教育の継続した啓発

『幼稚園教育の充実』

- 生活の連続性や学びの連続性を踏まえた指導計画づくり
 - 幼小の教育内容や指導のあり方等についての共通理解
 - 家庭、地域社会、小学校、保育所、認定子ども園等と互いに連携・協力を見通した指導計画の作成
- 主体的な活動が確保できる保育の場づくり
 - 幼児の心の動きを理解し、発達の見通しや活動の予想に基づいた具体的な環境の構成
 - 個々の実態に応じた指導の内容や方法の工夫と組織的、計画的な保育の実施
- 次の支援・保育につながる評価体制づくり
 - 幼児の発達の理解と課題に基づいた計画の見直しや環境の再構成
 - 保育カンファレンスなどをもとにした指導の振り返りによる幼児の見取りと保育への活用

学級・学習集団づくり

安心感・存在感・向上心

関係機関との連携

- 関係機関の機能を理解した効果的な活用
 - 関係機関の機能等の具体的な把握
 - 学校課題の解決につながる関係機関との連携を図る管理職等のコーディネート
- 各校種の実態、教育内容の理解に基づいた指導方法の改善
 - 連携のための時間、場所等の確保
 - 情報の共有と共通実践

子どもに育みたいこと

- 「聴く」「話す」ことができる学習態度
- 相手を尊重し、自分を律することができる態度

教師(担任)がこころがけたいこと

- 一人一人の特性を踏まえ、個を大切にする学級経営
- 信頼関係に基づいた称賛や叱責を通した秩序の形成

学校に求められること

- 学校全体で教師(担任)を組織的に支援する体制
- 学校、学年で共通理解し、共通実践できる体制

- 集団の一員として目標をもって取り組み、困難を乗り越える態度
- 集団をよりよくしていこうとする意識をもった自主的・自立的な行動

- 互いを尊重し合い、認め合う支持的風土の醸成
- 自主性・自立性を育む教育活動の展開

- 同僚性を発揮し、教師の指導力を向上させる雰囲気醸成
- 学校全体で、子どもと関わる時間を確保できる環境整備

家庭や地域社会との連携

- 望ましい生活習慣、学習習慣の確立
 - 具体的方策についての共通理解・実践
 - 家庭学習の仕方等についての周知
- 家庭や地域社会の教育力を生かした教育活動の充実
 - 地域の教育力を活用した教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の実施
 - 家庭、地域との協力による学校安全体制の強化